

令和4年度の重点課題

○体力面

・男子は、「握力」「長座体前屈」以外、県平均値及び全国平均値を下回っていた。
 ・女子は、「握力」「長座体前屈」「ボール投げ」以外は、県平均値及び全国平均値を下回っていた。

○運動習慣・運動意欲面

・男女共に、90%の児童が運動に対して意欲的であると回答したが、68%の児童が1時間未満しか運動をしていないと回答した。このことから、運動に対して意欲的な児童は多いが、運動をする時間が短いことに課題がある。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○体育の授業の運動量を高める
 児童の体力を高めるために、授業構成、場の設定を工夫して1時間の授業のうちの運動量を高めた。
 ○サーキットトレーニングの改善
 令和4年度の体力テストの結果を基に、授業のウォーミングアップの時間等に行っているサーキットトレーニングを改善し、課題の克服を目指した。また、トレーニングをさせるだけでなく、走るときの腕の振り方、投げる時の体の向き等、適切な体の動かし方についても指導できるようにした。
 ○児童会活動を中心とした外遊びの推進
 児童会活動(体育委員会)において、外遊びを呼びかけたり、行事と関連付けた取組を考えた。昨年は、なわとび大会に向けて「因北ギネス」という取組を行った。体育委員会が中心となって、休憩時間に記録を測定し、最高記録を掲示することで、児童が意欲的に運動できるような取組を行うことができた。
 ○体育朝会の実施
 朝会時に、かけ足や縄跳びなどを行い、児童の運動機会の確保をしたり、学校全体が一体となって運動に取り組む雰囲気を作った。

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

| 男子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 | 女子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 |
|------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|-------|-------|
| 第5学年 | 17.76 | 22.00 | 36.04 | 45.92 | 50.08 | 9.01 | 162.48 | 25.64 | 59.26 | 第5学年 | 15.78 | 18.67 | 41.72 | 40.67 | 33.19 | 9.48 | 161.16 | 14.69 | 58.00 |

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

| 男子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 | 女子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 |
|------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|-------|-------|
| 第5学年 | 17.76 | 22.00 | 36.04 | 45.92 | 50.08 | 9.01 | 162.48 | 25.64 | 59.26 | 第5学年 | 15.78 | 18.67 | 41.72 | 40.67 | 33.19 | 9.48 | 161.16 | 14.69 | 58.00 |

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

| 男子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い | 女子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い |
|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|------|------|
| 第5学年 | 83.33 | 12.50 | 4.17 | 0.00 | 第5学年 | 65.38 | 30.77 | 3.85 | 0.00 |

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○体育の授業の運動量を高める
 児童の体力を高めるために、授業構成、場の設定を工夫して1時間の授業のうちの運動量を高める。
 令和5年度の体力テストの結果を基に、授業のウォーミングアップの時間等に行う体をほぐす運動を取り入れる。
 適切な体の動かし方の指導については、ICTを活用し写真や動画を撮ることで、自分自身の動きを客観的に振り返ることができるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

○委員会活動、休憩時間の活動
 運動に対する意欲が低い児童も前向きに運動に取り組めるよう体育委員会を中心に「因北ギネス」のような取組を実施する。
 休憩時間に、「体育委員と遊ぼう。」という時間を休憩時間に設けて体育委員会が考案した遊び(走る運動を中心)を行うことで体力や走力の向上を図る。
 ○体育朝会の実施
 朝会時に、かけ足や縄跳びなどを行い、児童の運動機会の確保をしたり、学校全体が一体となって運動に取り組む雰囲気を作る。

重点課題

○体力面

・女子は、「握力」「20mシャトルラン」において、県平均値を下回っていた。

○運動習慣・運動意欲面

・「運動やスポーツをするときは一日にどれくらいの時間しますか。」という質問に対し、58%の児童が運動に対して1時間以上であると回答したが、42%の児童が1時間未満しか運動をしていないと回答した。このことから、運動に対して意欲的な児童は運動をする時間を確保できているが、意欲でない児童は運動をする時間が短く、運動意欲が高い児童と、そうでない児童の運動量に差が生きている。

令和6年度の重点目標値

・全般的な体力を高め、新体力テストの総合評価のAB率を50%以上を保つ。、ED率を20%以下に保つ。
 (今年度は、AB率58.3%、ED率12.5%)